

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉）
（500）
2. 日時：令和5年4月20日 13時10分～14時05分
3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

宮本上席安全審査官※、片桐主任安全審査官、秋本安全審査官、
大塚安全審査官、平本安全審査専門職

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 部長（審査・運営管理担当）、他4名

原子力事業統括部 担当部長（技術アドバイザー）※、他4名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本面談については、事業者から対面での面談開催の希望があったため、「緊急事態宣言解除を踏まえた原子力規制委員会の対応について」（令和4年3月9日 第70回原子力規制委員会配付資料）に基づき、一部対面で実施した。

6. その他

提出資料：

- (1) 泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.4.1 崩壊熱除去機能喪失（SAE741 r.6.0）
- (2) 泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.4.1 崩壊熱除去機能喪失（SAE741-9 r.6.0）
- (3) 泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト（有効性評価 7.4.1 崩壊熱除去機能喪失）
- (4) 泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト 有効性評価 7.4.1 崩壊熱除去機能喪失（余熱除去系の故障による停止時冷却機能喪失）
- (5) 泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.4.2 全交流動力電源喪失（SAE742 r.6.0）
- (6) 泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.4.2 全交流動力電源喪失（SAE742-9 r.6.0）
- (7) 泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト 有効性

評価 7.4.2 全交流動力電源喪失

- (8) 泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.4.3 原子炉冷却材の流出 (SAE743 r. 6. 0)
- (9) 泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.4.3 原子炉冷却材の流出 (SAE743-9 r. 6. 0)
- (10) 泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト (有効性評価 7.4.3 原子炉冷却材の流出)
- (11) 泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト 有効性評価 7.4.3 原子炉冷却材の流出
- (12) 泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.4.4 反応度の誤投入 (SAE744 r. 6. 0)
- (13) 泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.4.4 反応度の誤投入 (SAE744-9 r. 6. 0)
- (14) 泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト (有効性評価 7.4.4 反応度の誤投入)
- (15) 泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト 有効性評価 7.4.4 反応度の誤投入
- (16) 泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価「崩壊熱除去機能喪失」「全交流動力電源喪失」「原子炉冷却材の流出」「反応度の誤投入」

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	規制庁アキモトですそれでは本日の泊発電所3号炉のヒアリングを開始します。今日は有効性評価の提示関係ですと、
0:00:13	では
0:00:15	等7.4.1からですね説明をお願いします。
0:00:21	はい。北海道電力の沖です。それでは7.4.1の崩壊熱除去機能喪失からご説明させていただきます。資料は1-3のヒアリングコメント回答リストと1-2の比較表を用いて、
0:00:34	コメントの概要を説明させていただきます。
0:00:37	まず、ヒアリングコメント回答リストNo1ですけども、原子炉停止後の時間に関して、定検実績から72時間を選択した理由について説明することということでこちら添付資料。
0:00:49	の方に追記しております。比較表で言いますと、添7.4.1.2、
0:00:56	の、
0:00:57	1ページお願いします。
0:01:06	7.4.1.2です。
0:01:08	はい。各事象に、このシステム熱水力解析データという添付書付けてるんですけどもそちらの72時間のところに※を振りまして、原子炉停止後の時間の詳細については別紙に記載するというところ2ページ目に、
0:01:21	詳細を記載しております。
0:01:23	中身ですけども下の図
0:01:27	1の通りですね原子炉停止から一次冷却系の大気開放、水抜き開始までの時間として、クリティカルなのが雑雑ガス運転。
0:01:37	になりますと、それが下の表で示してますけども、
0:01:43	解析上は72時間で設定してますが31定検で91時間、32定検で107時間ということで、それよりも保守的に短い、短い時間、崩壊熱が高くなるように短くした背時間で72時間で解析を行っております。
0:01:59	はい。こちらについては以上です。続いて、ナンバー2ですけども、
0:02:05	事故シーケンスグループの特徴において、大井高浜に余熱除去系の故障等により、の等の理由を確認し説明することということで比較表の
0:02:15	1ページ、
0:02:16	お願いします。
0:02:24	比較表の日、1ページの一番下の部分ですけども、センコーの大井高浜は、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:29	余熱除去系の故障等に伴いということで今回、女川に合わせて泊では、等を削除しております。
0:02:36	これはですね、確認したんですけど審査ガイドの重要事故シーケンスの例。
0:02:42	記載にですね、運転中のRHR、または原子炉補機冷却水系過去原子炉補機冷却海水系を含むの故障によって崩壊の除去機能が喪失し燃料損傷に至ると。
0:02:52	いう記載がありガイドに従いまして、RHRの故障に限定した、記載していないというふうに考えますがBWRのガイドも同様の記載であり、
0:03:01	まして、原子炉補機冷却水系の故障を想定しますと、7.4. 2の全交流動力電源喪失と同様の対策となりますので、今回、7.4. 1の崩壊熱除去機能喪失の有効性を評価を行うためには、
0:03:14	限定した記載を永豊等を削除するという形で良いと考えます。
0:03:21	続いてナンバー3ですけどもこちら比較表の41ページ。
0:03:26	をお願いします。
0:03:36	図になりますけども、炉心上端ポイド率の最大長、
0:03:41	ポイド率の推移に関して最大値について定量的に説明することということで、黄色マーカーしておりますが、炉心上端ポイド率は最大0.64という形で記載しております。
0:03:52	停止時の7.4. 2の停止時SBOの方も全く同じ解析ですので同じように記載してあります。あと7.4. 3の冷却材流出の方は、後程グラフで説明、ご説明しますが0.74という数字を記載しております。
0:04:09	はい。続きナンバー4。
0:04:11	になりますけども、CV内作業員の退避に関して、大矢機械的に管理、泊は名簿で管理としていることについて他社の状況も確認の上層理欄を、
0:04:21	充実させて説明することということでこちら添付資料になりますけども、7.4. 1.1-1ページをお願いします。
0:04:38	はい。7.4. 1.1ですけども、真ん中の泊の欄の中で、赤字のところですね、名簿で管理というところ。他社の状況を確認したんですけども、名簿で管理としてるところは泊。
0:04:53	のみでして、泊はCV内入退域者を、名簿で管理するが、CV退避時には、常駐する監理員が全作業員の退避完了が再確認すると。
0:05:04	いう運用は大井他のPWRと同様であるということできっかり管理できるものというふうに考えております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:11	はい。7.4. 1 のヒアリングコメント回答については以上でしてその他比較表で直してるところ、
0:05:18	主なところをちょっとご説明させていただきます。
0:05:20	資料 1-1-2 の比較表ですけれども、
0:05:25	2 ページをお願いします。
0:05:34	他の停止時の事故シーケンスも同様なんですけども、(2) の事故シーケンスグループの特徴及び燃料損傷防止対策の基本的考え方、
0:05:42	ですが改めてできるだけ女川に合わせる形に修正しております。黄色マーカーのところですね。
0:05:48	あと従っての部分の最後ですけども、除熱の部分、原子炉だけではなくて及び原子炉格納容器を除熱するというので、自然対流冷却も行いますので、他の事象に合わせて、他の 7.4. 、
0:06:01	2、2 や 3、4 と同じで、原子炉及び原子炉格納器除熱するというふうに記載を統一しております。
0:06:09	続きます、
0:06:13	28 ページをお願いします。
0:06:19	28 ページは要員のところなんですけども、先日ご説明しました通り、二名ふやしております 20 名の 35 名。
0:06:27	いうことに直してます。
0:06:28	続いて、29 ページ。
0:06:32	ですけれども、
0:06:34	こちら燃料の記載ですね、こちら燃料記載今、修正しているところと、20.9 という緊対所の数字は、正確には 19.2 ということで今後また修正させていただきます。30 ページの合計の使用量も合わせて修正させていただきます。
0:06:51	続きます、36 ページ。
0:06:55	お願いします。
0:07:00	解析条件の表のところなんですけども、この 72 時間の根拠。
0:07:06	条件設定の考え方についてそういう理由を充実させております。
0:07:11	評価条件の相違ということで原子炉停止後の時間の条件設定の考え方は、泊が保守的に水抜き開始時点からさらに余裕を見た時間で設定していると。
0:07:21	先ほどご説明しました通り、実績でいうと、90 時間とか 100 時間それに対し 72 時間で設定していると。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:28	それに対して大岩崩壊熱と増井筒井はミッドループ運転の水位で評価してまずけどもそれを条件を整合させる観点からも水抜き完了までの時間に余裕を見た時間で設定していると。
0:07:39	泊の考え方は、高浜伊方と同様となっております。
0:07:45	はい。7.4. 1の説明については以上となります。
0:07:56	規制庁アキモトですそれでは確認に入りたいと思います。何か質問コメントありますでしょうか。
0:08:09	規制庁の平本です。
0:08:11	今さっき説明いただいた、
0:08:26	72時間の話ですけども、
0:08:29	72時間の設定の考え方が、
0:08:33	藤大井と、それから泊3号では違うと。
0:08:38	高浜と泊3号は一緒ですと。
0:08:42	その結果設定した値を見ると、
0:08:45	大井は72時間で、泊と同じだと。
0:08:48	高浜はもっと短い55時間だと。
0:08:51	ということは、泊さん、泊はですね。
0:08:56	実績を見て、
0:08:58	それそこから十分要員をとって、
0:09:00	72時間設定されたということではあるんだけども、
0:09:04	同じPWRの、高浜がもっと短い。
0:09:10	運用がもしかしたら可能なんじゃないかと。
0:09:13	いうことで、
0:09:14	将来、
0:09:17	泊もう、
0:09:18	そのような運用をやって、
0:09:21	もっと短いね。
0:09:26	作業をやってしまっちゃった場合に、
0:09:29	72時間よりももっと短いですね。
0:09:31	ところで、ミドルループ運転に入ってしまうと、
0:09:35	そういうのがあるかどうかわかりませんが、
0:09:38	高浜でそういうことができるというんだったら、泊でもできるんじゃないかなと思いますが、あたりの制約というのは何か考えてるんでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:52	はい。青木です。おっしゃる通り定検の工程ですので、より早くなることも考えられますが
0:10:00	これまでの実績から、当然泊 12 号の実績もありますけども、それを、それ、それらを踏まえても、過去の定検実績は、他社さんの
0:10:10	実績も踏まえまして、これ以上早くなることはないと言 3 号機は古藤早くなることはない、短くなることはないということで、今回 72 時間を設定させていただいております。今後もし仮にですね、
0:10:21	kk ン作業が大幅に短くなるようなことがある際にはまた、この時間を下回らないような運用を考えなくちゃいけないのかなというふうには考えております。
0:10:37	規制庁平本です。ご説明いただいた内容わかったんですけども、
0:10:44	定検も短くしたときに、ここを考えなきゃいけないと。
0:10:49	いうためのトリガーというのは、
0:10:51	何か準備されてるんでしょうか。
0:10:53	例えば、
0:10:55	保安規定に出るとかですね。
0:10:58	何かそういうもう 1 人があるんでしょうか。
0:11:11	はい、青木です。ちょっと正直そこまでは考えられていないんですけども、やはり水抜き開始の時点で、
0:11:18	よりさらに短い時間で設定しておりますので実際にはミッドループ運転になるのは、水抜きが、
0:11:24	完了してみるミッドループになった時間、もっと後になりますし、条件もかなり保守的な条件で崩壊熱の高めに設定したりですね、やっておりますので、有効性評価の結果がうまく使うようなことはないというふうに考えておりますけどちょっと、
0:11:38	そうですね、何かいえることありますか。
0:11:43	芝田です。沖新田期ことの繰り返しになるんですけども、運用で、制限を定めてそれを守るというふうに設定するような設定値と、
0:11:55	あとは、実際に対して余裕を持って設定する。
0:11:59	解析入力値とあっても、一応これは後者の扱いというふうな考えで、いろいろな余裕を積み上げて設定しているというふうな考え方で設定してございます。
0:12:45	規制庁平本です。ご説明わかりました。はい。
0:12:49	私からは以上です。
0:14:55	規制庁秋本ですその他、いかがでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:59	規制庁の蟹江と、確認だけなんですけど大井との違いで大井の資料ちょっと見たんですけど、結局は、
0:15:07	この水抜き開始と完了時点の崩壊熱より水の方が効いてくるっていうところが、
0:15:14	あって、
0:15:16	こういう設定になってるっていう理解でよろしいですよっていうだけですけれど。はい。
0:15:22	はい、青木ですおっしゃる通りでして大井の方にはそのような添付資料で考察もされておまして、その理解でよろしいと思います。
0:15:30	定量的に評価しましたって、先ほど別紙でつけていただいたところで、31 定検さんに提言ってこれ 3 号炉の第 1 回と第 2 回っていう、
0:15:40	何か米印でいいので、説明を書きいただけたらちょっとありがたいかなと思うんですけど。はい、青木です。ちょっと、はい。我々の普段使ってるように書いてしまいました。申し訳ございません。
0:15:51	第 3、3、3 号、泊 3 号機第 1 回定検っていうのが正しいんですかね、定期検査ですかね。はい。ちょっと記載直したいと思います。
0:16:01	規制庁ぜひよろしくお願ひしますって後、
0:16:03	ちょっとコメント回答のところじゃないですけど、添付の
0:16:07	7.4. 1.9 の 2 ページをお願いしたいんですけど。
0:16:16	これもしわかればなんですけど、エネルギー積算量表があって、
0:16:24	大井ジェイスなんか桁でおつきくて、
0:16:28	何かこの辺って、
0:16:31	17 条気が注意ってこと多分普通に直すと 10-16 以上ぐらいですかね、
0:16:39	止まりて 10 名 90 キロだから 12 条で、まとめると言い方は大体同じぐらいで、
0:16:47	限界を見ても 19. 20-9 条、
0:16:53	黄色なんで何か、
0:16:54	大井だけ飛び抜けて多いんですけど、この辺でもし何か確認された。
0:17:46	規制上の技術状況については了解しまして後、
0:17:50	比較表の 35 ページをお願いします。
0:17:58	最後安定状態に向けたところで、自然す。
0:18:03	スプレー、
0:18:06	必要に応じてやりますよって記載があって、
0:18:09	それで、コピーと他の事業者見たら、関連がみんなこういうような記載になってて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:16	泊もそれに合わせて必要に応じてスプレーやりますよってということで、
0:18:22	一番、表の一番下って、
0:18:26	有効性評価上考慮しないってところでグレーアウトされてるじゃないすか。泊っていう、大井の方わあ、
0:18:35	有効性評価上期待しないなんダラーは隅つき括弧でかかりますよっていうんで、くくっていないんですけど。
0:18:44	これ、泊と大井で、扱いは一生ですよねっていう。
0:18:50	そこをちょっと説明いただけますか。
0:18:53	はい。青木です。おっしゃる通り、扱いに関しては同様なんですけどもちょっと考え方が違うと申します。いいですか右側に今回、前回もヒアリングでちょっとお話が出ましたのでそういう理由として、
0:19:06	書かせていただきましたけども、今回、自然対流冷却を有効性評価上考慮する操作としているため、優先順位を考慮し、有効性評価上期待しない操作というふうに、スプレーを泊としては考えていると。
0:19:19	なお、スプレー再循環お湯有効性を過剰期待していないのは伊方も玄海も同様ですということですのでそういう、前回ヒアリングのコメントの内容ですけども、回答、記載させていただいております。
0:19:32	伊方玄海ってもう何かそもそも書いてないなあ、何かちょっと間みたいな扱いになっちゃうんですかね。
0:19:44	はい青木です。おっしゃる通り確かに、そうですね期待。
0:19:48	記載しない。
0:19:50	ていうのも一つの手かもしれませんね。
0:19:55	規制庁梶山状況についてはちょっと了解しました。はい。私から以上です。
0:20:03	規制庁秋本です1点だけなんですけど
0:20:08	コメントリストの4番の機械的管理と名簿で管理の件なんですけど、これは他社の状況を確認して森と同様のK i s sプラントは確認できなかったってということなんですけど、
0:20:22	他社先行PWRは全部機械的に管理ってということでよかったんですか。
0:20:30	はい。青木です。すいませんこの資料上でちょっと確認したものでして、記載していなかったのが伊方と仙台は記載してなかったんで、確認はできなかったんですけども、
0:20:42	記載してあった関連プラント及び玄海に関しては、機械的管理ということとは確認しております。
0:21:50	北海道電力梅田です。すいません発電所からよろしいでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:56	どうぞ。
0:21:58	すいません
0:22:00	コメントNo. 4の件なんですけど、大井の状況はちょっと確認できておりませんが、同じ関西電力の高浜34号炉に関しましては、
0:22:11	エアロック前で、パソコンを用いてですね入退域管理を行っているということは確認がとれておりまして、
0:22:19	管理区域乳井する際に、ガラスバッチ等で、個人識別のIDとありますけど、
0:22:26	それをパソコンで何か読み取って、データ管理して入退域管理を行っている、ということを確認しております。
0:22:36	ですので、同じ関西電力の大飯発電所ちょっと直接確認できておりませんが、大井の方も同じような形で、パソコンで管理しているものと考えております。
0:22:48	あと伊方3号についても、状況確認しておりまして、伊方3号に関しましては、泊と同じく、手書きの台帳のような形で、入退域管理をしているということで、
0:23:02	泊の同泊と同様な状況であるということは確認しております。以上となります。
0:23:22	規制庁秋本です。じゃあ、この回答ってどういうことなんですかね。
0:23:28	ちょっと意味がよくわかんなかったんですけど。
0:23:32	はいちょっと北海道電力芝田ですこちらのちょっと確認不足だと思いますんで、改正して提示させていただきたいと思います。
0:25:23	規制庁秋本です今先ほど発話いただいたように名簿で管理しているところがあるっていうのであれば、
0:25:33	記載はなかったとしても、泊オリジナルじゃないよっていうところがわかった方が、助かるので、
0:25:41	どっかに書き込めたりします。
0:25:46	はい。青木です。そういう理由のところ到最后のところに括弧名簿の管理に関しては伊方と同様という形で記載したいと思います。
0:25:59	これ、芝田さん、只野先ほど、青木。
0:26:03	述べた通り審査、新設、まとめ資料で読み取れない事項ということと、他社の事項であるんでちょっと書けるかどうかは検討して、どういうふうに表記するかっていうのをちょっと検討させていただきます。
0:27:21	規制庁アキモトですでは、7.4.1は、以上でよろしいでしょうか。はい。それでは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:28	7.4. 2ですかね。はい、説明お願いします。
0:27:34	はい。青木です。7.4. 2を、7.4. 2は、コメント回答リストがありませんので、比較表で、
0:27:44	変更内容、主なところを説明させていただきたいと思います。資料2-2をお願いします。
0:27:54	はい。2-2の1ページ目ですけども、こちら先ほどご説明した通り、(2)の部分は、できるだけ女川に合わせられるように合わせる形で修正しております。
0:28:07	3ページをお願いします。
0:28:13	こちらSBO事象ということで、参集要員のもともと記載があったんですけども、参集の記載を削除して過去支援を二名ふやしているということで、修正しております。
0:28:29	その他ですけども、31ページをお願いします。
0:28:40	油の燃料の評価のところなんですけども、すいませんこの可搬型大型送水ポンプ車泊の一番上のところなんですけども従来PWRでは、実際にタイムチャート上で
0:28:52	運転する時間からの7日間で評価しておりましたが、保守的に7日間で評価するという方針に変更しておりますので、一番上の部分、今10.5時間後からっていうふうにしてますけども、7日間の蒸発保守的に事象発生直後から、
0:29:07	という下の記載に合わせて修正したいと思っております。その時の燃料除去量は、3と同様に12言語になると、1キロリットル程度増える計算になります。
0:29:23	はい。続きまして33ページも、先ほどと同様できるだけ椎木事故シーケンスグループの特徴ですかね、お名前合わせる形で修正しております。
0:29:37	はい。あと44ページが、炉心上端ボイド率の推移のグラフですけども、先ほどの崩壊熱除去機能喪失同様に、炉心上端ボイド率は最大0.64ということで、グラフに明記しております。
0:29:50	はい。主な修正箇所については以上となります。
0:29:55	規制庁アキモトでそれでは確認に入ります。じゃ、質問コメント何かありませんでしょうか。
0:30:05	規制庁アキモトですそれではじゃあ、7.4. 3、お願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:12	はい。青木ですけれども、7.4. 3は、ヒアリングコメント回答リストがありますのでこちらに基づいて、説明させていただきます。資料3-3のヒアリングコメント回答リストと、
0:30:26	3-2のの比較表を用いて説明させていただきます。コメント回答リストのナンバー1ですけれども、従って以降の記載において冷却対象原子炉のみで良いか確認及び修正することということで比較表の
0:30:43	2ページにあります。
0:30:45	先ほど崩壊熱除去機能喪失でも、ご説明させていただきましたけども、原子炉及び原子炉格納器を除熱するという形で統一した記載としております。
0:30:54	続いてナンバー2ですけれども、概略系統図に女川同様流出経路を明示する必要があるか確認し説明することということでこちら概略系統図、
0:31:03	になります。35ページ。
0:31:06	をお願いします。ちょっと比較表だと。
0:31:08	小さくて見づらくて申し訳ないんですけども、上の、2分の1の炉心注水のところですが、矢印で、
0:31:20	誤操作等により、他の系統等へ流出という形で明記しております。それに伴って運転中の余熱除去ポンプが機能喪失するという形で、記載を見直しております。
0:31:34	はい。ヒアリングコメント回答については以上となりましてあとその他比較表で、
0:31:40	主修正しているところですが、基本的にはこれまで説明してきた崩壊熱除去機能喪失と、停止時SBOと同様なんですけど38ページ。
0:31:53	2、炉心上端ボイド率の数字を書いております。先ほど回答の中でもご説明させていただきましたけどこちらの事象に関しましては、
0:32:02	炉心上端ボイド率は最大でも、
0:32:05	0.74という形で記載して、明記しております。
0:32:11	はい。7.4. 3の冷却、原子炉冷却材の流出については以上となります。
0:32:20	規制庁秋本ですそれでは確認に入ります。今説明いただいた38ページのところですけど、
0:32:29	あれですか、これの0.74っていうのは、
0:32:33	一番、
0:32:34	150
0:32:36	分付近っていう
0:32:38	どうですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:39	はい。大木です。おっしゃる通りでして 150 分が最大になります。
0:32:56	はい。青木です。申し訳ございませんちょっと比較表、
0:33:00	古い形になってまして、まとめ資料の本体の方ではですね、3、27 ページなんですけども
0:33:06	鍵。はいそこを意識した記載にちょっと修正しております。申し訳ございません。まとめ資料本体の 27 ページになります。
0:33:31	規制庁秋本ですわかりました本体側は、適切な形になっているということで理解しました。比較表も適宜、
0:33:41	修正しといていただければと思いますというだけですかね。
0:33:52	規制庁片桐です添付のう。
0:33:56	比較表の 7.4. 3.1 の
0:34:00	3 ページをお願いしたいんですけど。
0:34:05	このズーが、略称が結構並んで、
0:34:13	ちょっとどうにかならないのかなと思ってあと 1 個 H T って、何かホールドアップタンクか何かですかね。
0:34:21	はい。青木です。1 t ってホールドタンクでよろしいですか。はい。その通りですね今回これを合わせて修正したんですけども。確かにおっしゃる通り略語が多いので見直したいと思います。発電所の方もよろしいですか。
0:34:39	北海道電力梅田です。略語が多いので、正式名称で見直しを図りたいと思います。以上となります。
0:34:47	規制庁から今朝了解しました私から以上です。
0:39:13	規制庁脇本ですそれではじゃあその他なければ、7.4. 2、ごめんなさい 7.4. 4 ですね、の説明をお願いします。
0:39:26	はい。青木です。
0:39:28	7.4. 4 も、ヒアリングコメント回答リスト、資料 4-3 と比較表の 4-2 を用いて説明させていただきます。
0:39:38	資料 4-3 のコメント回答リストのナンバー 1 ですけども、初期ほう素濃度の記載に関して、要求値の下限値と保安規定定める値が同様であればその旨、そういう欄に記載することということで、
0:39:49	比較表の 7 ページ、
0:39:53	になります。
0:39:58	はい。7 ページに、(シ) 初期ほう素濃度ということで大井高浜が、保安規定に定められた制限値であるということに対して泊が

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:08	要求値の下限値であるというところですけども、そういうようなところ、黄色マーカーしてるところになります。
0:40:14	泊の現状の保安規定の制限値は、3000 p p mであり、MOX燃料を装荷するタイミングで3200 p p mに変更する計画であるということで、ちょっと大井と高浜に合わせるの難しいというふうに判断しております。
0:40:27	回答については以上となります。その他ちょっと1点。
0:40:32	修正しているところがありまして30ページ。
0:40:36	をお願いします。
0:40:42	概略系統図なんですけど、もともと大分下に合わせて一つにしてたんですけども初期の対策と、安定状態向けの対策を他の事故シーケンスとあわせて分けた方がいいだろうというふうに判断しまして、
0:40:54	2分の1を希釈停止操作、初期の対策としての希釈停止操作、
0:40:58	92分の2を、安定状態向けの対策としてホウ酸注入という形で図を一つ追加しております。
0:41:06	はい。主な変更については、
0:41:08	説明は以上となります。
0:41:15	規制庁脇本ですそれでは確認に入りたいと思います。何かありますでしょうか。
0:41:44	規制庁アキモトですそれではじゃあ7.4.4、その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。
0:41:50	はい。では最後ですかね資料ですかねパワポをお願いします。
0:41:57	はい。青木です。資料5で、5月の審査会合向けにパワーポイント作成しております。1ページの内容に関しましては停止時の有効性を下に合わせた形で記載を修正しております。その他、基本的にはこれまで、
0:42:12	の炉心損傷防止やCV破損、
0:42:15	防止対策と同様なんですけども3ページ。
0:42:20	お願いします。今回除去機能喪失の概要を書いているんですけど右上のところですね、基本的には大飯34号炉と同様というふうに記載してんですけども、停止時につきましては、
0:42:31	崩壊熱除去機能喪失につきましては初期の対策として蓄圧タンクを泊は用いないというところでは限界を伊方と同様という形で、初期の対策に関連する部分は、このような記載としています。4ページの
0:42:44	概略系統図も同じですね。
0:42:47	その他ですけども8ページ。
0:42:50	をお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:54	評価結果のところですけども、炉心上端ボイド率の記載ですが、右上の方に3号炉。評価結果同様ということで、やはり
0:43:03	蓄圧タンクを用いている大井高浜とはちょっと挙動が異なりますので同じCグループで、蓄圧タンクを用いない、伊方3号炉と同様というふうに記載させていただいております。
0:43:13	その他は基本的に、すべて大飯34号炉と同様ということで、
0:43:17	記載しております。
0:43:20	パワーポイントの説明については以上となります。
0:43:31	規制庁脇本です。わかりましたそうするとじゃあ、
0:43:36	停止時はもう、
0:43:38	もう、
0:43:40	大きい。
0:43:43	先行との差分みたいな。
0:43:46	のは特にないっていう理解でいいですかね。
0:43:51	はい、青木です。そのご理解で結構でございます。
0:43:58	規制庁秋本ですわかりました。そういう意味では、泊の特徴的なところ、
0:44:05	もう、
0:44:06	ない。
0:44:07	いうか、そんな感じですかね。
0:44:31	はい。青木です。はい。泊3号機のオリジナルのもの特徴的なものはないというふうに考えてます。
0:45:58	規制庁秋本ですすみません、ちょっと戻っちゃうかもしれないですけど
0:46:03	これ何でしたっけ。
0:46:05	崩壊熱。
0:46:07	助教機能喪失でした。泉井岡。
0:46:12	停止、全部一緒。定検工程上の原子炉停止後の時間で72時間設定しているっていうところは、
0:46:23	先行と同じ考え方のところは、
0:46:26	だと、55時間になっているっていうのは実績のす値がいいっていうふうには理解はしてるんですけど。
0:46:35	じゃああれなんすかね先行は何か、定検の何か工夫をしてるとか、そういうことなんですか。何か短縮できるような、
0:46:47	そういういことでもない感じですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:50	はい。大城です。基本的にPWRプラント同様の定検工程特にはこの停止、原子炉停止してからってというのは、同じ工程となっておりますので、特段、差異があるようなものではないと。ただ、ただ、
0:47:04	ただ設定の仕方がちょっと、
0:47:06	プラントバイプラントで異なっているということね。
0:48:01	規制庁平本です。
0:48:02	このパワポの中で、SBOの
0:48:07	炉心注水のズーですけれども、11ページですね。
0:48:15	11ページとか12ページとかで、
0:48:19	丹羽副空気浄化ファンのところを、書いてますよね。
0:48:24	他の
0:48:25	部分は、こういう記載はないんですけども、
0:48:29	そこの差ってというのはどういうところになっちゃう。
0:48:33	はい。青木です。
0:48:35	SBOの事象、全交流動力電源がそうするような事象に関しましてはこの分、アニュラス全量排気弁操作可搬型窒素ガスポンベガスポンベを使う、SA対策であるガスポンベを使用して、アニュラス空気浄化ファンを回すこととなりますので、統一して記載しているということになります。運転中の全交流、
0:48:55	動力電源喪失や過圧破損なんかも、SBOを想定しておりますが、合わせて記載しております。
0:49:06	規制庁平本です。そしたらここは、このポンベを使って開くということを書きたかったということですね。
0:49:14	理解しました。
0:49:16	私は以上です。
0:49:36	規制庁アキモトですその他、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。
0:49:41	北海道電力からの説明は伊井地域本日の説明は以上ということですのでよろしいでしょうか。
0:49:49	はい、以上となります。
0:49:52	規制庁秋本ですそれでは引き続き資料確認し必要に応じて事実確認を行っていきたいと思いますこれは北海道電力の了解ということで理解しております。はい。それでは、全体通じて何かなければ、以上で終了にしたいと思いますが、よろしいでしょうか。
0:50:11	はい。では本日のヒアリングは以上にいたします。お疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。